

落札者決定基準 (令和8年度 堺市都心交通のあり方検討支援業務)

1 基本的な考え方

落札者の決定に当たっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、予定価格の範囲内で有効な入札を行った者について、本落札者決定基準に基づき入札価格と提案内容を審査し、総合評価点が最も高い者を落札者とする。

なお、公平な審査を行うため、本市が設置する令和8年度 堺市都心交通のあり方検討支援業務に係る事業者選定委員会（以下「委員会」という。）にて審査を行う。

(1) 価格評価点

入札価格について、後に示す算出式に基づき、「価格評価点」を与える。

(2) 技術評価点

別記「評価表」に基づき提案内容を審査し、「技術評価点」を与える。

(3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

「価格評価点」及び「技術評価点」の合計点（＝総合評価点）が最も高い者を落札者とする。

総合評価点 (100 点満点)	=	価格評価点 (50 点満点)	+	技術評価点 (50 点満点)
--------------------	---	-------------------	---	-------------------

(4) 有効とする数字

「価格評価点」及び「技術評価点」の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

(5) 総合評価点が最も高い者が複数ある場合の落札者の決定方法

ア 総合評価点が最も高い者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」が異なる場合
技術評価点が高い者を落札者とする。

イ 総合評価点が最も高い者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」が同じ場合
技術評価点のうち、評価項目②③④における各委員の合計点が高い者を落札者とする。

ウ 以上アからイで落札者を決定できない場合

入札価格が低い者を落札者とする。入札価格も同じ場合は、別途日を定め、くじにより決定する。この場合、当該入札参加者は、くじを辞退することはできない。

2 価格評価点の算出方法

価格評価点は、入札価格に基づき、次により算出する。

価格評価点 = 50 点 × (最低入札価格 / 入札価格)

ただし、予定価格を上回る入札を行った者は、落札者とし不在（技術提案書等の審査は行わない）ものとする。

3 技術評価点の算出方法

入札参加者から提出された技術提案書等を審査し、別記「評価表」に基づき以下の手順により技術評価点を算出する。

(1) 評価点

技術提案書等の記載内容により、各評価項目について次のとおり評価点を付与する。

評価の目安	評価点
非常に優れている	5
優れている	4
標準である	3
やや劣っている	2
劣っている	1
記述がない（評価できない）	0

(2) 項目評価点

評価点に、評価項目の重要度に応じて設定したウェイトを乗じて、項目評価点とする。

(3) 技術評価点

項目評価点を合計したものを得点とし、委員会の各委員の得点を平均したものを技術評価点とする。

(4) 技術評価点における基準点

(3)の技術評価点が25点未満の場合は、失格とする。

4 失格事項

次のいずれかに該当する場合は失格とする。

- (1) 提出書類に不足又は不備がある場合（軽微な場合を除く。）
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 著しく信義に反する行為があった場合
- (4) 契約を履行することが困難と認められる場合
- (5) 技術提案書等の記載内容が法令違反など著しく不適当な場合
- (6) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合
- (7) 技術評価点が、上記3(4)における基準点を満たさない場合

別記 評価表

評価項目	評価事項	配点	ウエイト	評価点	項目評価点
①業務理解度及び検討の基本的な考え方	・本業務の目的（堺都心部における概ね 20 年後の交通のあり方の検討）を十分に理解しているか。 ・堺都心部の特性（歴史性、拠点性、既存交通課題等）を踏まえた認識が示されているか。	5 点	1	5. 非常に優れている 4. 優れている 3. 標準である 2. やや劣っている 1. 劣っている 0. 記述がない	
②検討条件の整理に係る実施方針	・仕様書に定める上位計画等の整理、データ分析、想定される社会変化等の整理を実施するに当たり、使用するデータ、分析手順、成果整理方法が具体的かつ妥当であるか。	15 点	3		
③基本コンセプトの検討に係る実施方針	・めざすべき都市像、課題整理結果及び関連計画との整合を踏まえ、基本コンセプトの整理手順が論理的かつ説明可能なものとなっているか。	5 点	1		
④あるべき都心交通の将来像の検討に係る実施方針	・歩行者交通、公共交通、自動車交通の基本的な考え方やあり方の検討、街路の性格付け機能整理について、分析の視点及び成果物への落とし込み方が具体的かつ妥当であるか。	15 点	3		
⑤業務工程・スケジュールの妥当性	・作業フローが具体的かつ詳細に示されており、効率的かつ現実的に業務を履行することが可能なスケジュールとなっているか。	5 点	1		
⑥業務実施体制・担当者の専門性	・業務実施体制が明確で、役割分担が適切か。 ・都市交通計画分野における実績（交通計画検討支援業務に係るもの）を有する技術者が配置されているか。	5 点	1		
		50 点（満点）			点（得点）